

II サブスペシャリティ領域

1 コース名

生殖医療

専門医コース

2 プログラムの特徴

生殖に関する基礎的、臨床的知識を習得し、生殖医療に従事するための技能を獲得することができます。生殖医療を内分泌・不妊症・不育症・臨床遺伝学に分け、それぞれ到達目標を有します。

3 到達目標

I. 内分泌 各種ホルモンについて概念を理解し、内分泌疾患を鑑別できる能力を身に付けます。また、それらの疾患の病態生理の基本を理解し、妊孕性に対する適切な診療とカウンセリングを行うに必要な知識・技能・態度を身に付けます。
II. 不妊症 不妊症一般についての概念を把握したうえで、不妊症についての検査、治療を系統的に実施、かつマイクロサージェリーによる卵管形成術、男性因子に対する治療、体外受精・胚移植法等の先端医療の原理についても理解するのに必要な知識・技能・態度を身に付けます。不妊症患者の心理的多様性を十分理解し、倫理的側面にも十分留意して診療を行うことができます。
III. 不育症 不育症の概念を把握したうえで、不育症の検査、治療を系統的に実施し、かつ夫のリンパ球輸血法等の先端医療の原理についても理解するのに必要な知識・技能・態度を身に付けます。また、患者の心理的側面を配慮し、診療にあたることができます。
IV. 臨床遺伝学 臨床遺伝学の概念を把握したうえで、生殖医療で必要となる遺伝の検査を系統的に実施し、かつ患者の必要性に応じた適切な指導を行うために必要な知識・技能・態度を身に付けます。また、患者の心理的かつ倫理的側面を考慮し診療にあたることができます。

4 プログラムの概要

(1) 修得項目

【4年目】

内分泌疾患を鑑別できることです。また、その疾患と妊孕性について適切な診療を習得することです。

【5年目】

不妊症について検査、治療を系統的に行うことを学習します。生殖医療に関する先端医療を倫理的側面も含め学び、また、技術を習得することです。

【6年目】

不妊症の検査、治療を系統的に学び、さらに、臨床遺伝学では生殖医療が必要とする遺伝の検査を系統的に実施し、患者に適切な指導ができるようにすることです。

(2) 指導体制(指導医数)

4人

5 受け入れ可能人数

2人

6 修了後の主な進路

日本生殖医学会専門医の資格をとり、大学病院及び研修施設にて指導医となります。

関連研修施設

生殖医療専門医

